

令和4年度<前期>障害者スポーツ大会予定について

開催日	大会名・行事名	会場
5月8日(日)	千葉市障害者スポーツ大会陸上競技	千葉市青葉の森スポーツプラザ陸上競技場
5月22日(日)	県障害者スポーツ大会陸上競技	千葉県総合スポーツセンター陸上競技場
5月29日(日)	県障害者スポーツ大会水泳	千葉県国際総合水泳場
6月4日(土)	県障害者スポーツ大会サウンドテーブルテニス	千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター
6月5日(日)	県障害者スポーツ大会卓球	千葉公園スポーツ施設 体育館
6月5日(日)	県障害者スポーツ大会ボウリング	VEGAアサヒボウリングセンター
6月5日(日)	千葉県障害者フライングディスク選手権	千葉市青葉の森スポーツプラザ陸上競技場
7月10日(日)	県障害者スポーツ大会フットベースボール	千葉県総合スポーツセンター軟式野球場・ソフトボール場
9月9日~10日	県障害者スポーツ大会ソフトボール	成田市中台運動公園 陸上競技場他
9月29日(木)	手をつなぐスポーツのつどい	千葉県総合スポーツセンター陸上競技場

※ ご協力頂ける方は、当協議会のHPか、「協議会だより」に同封した申込用紙をご利用下さい。

事務局報告事項

- 令和3年度日本パラスポーツ協会功労賞；千葉協議会・宮坂昇理事が受賞した。
- 今年度事務局定例会；正副会長、事務局で構成し4回開催した。日パラ協、県・市協会等の連携、事務局体制の強化、協議会だより発行、理事会・研修会運営、各部会活動等について協議し、コロナで中止となる状況下で当協議会研修会は2回とも開催できた。



宮坂昇理事

- 「オンラインボッチャフェスティバル」；令和3年度オンラインボッチャフェスティバルが12月8日(水)千葉県立船橋特別支援学校を本部として開催された。この企画は特別支援学校を拠点とした障がい者スポーツ振興事業の一環として行われ、県立船橋夏見特支学校、県立習志野特支学校、船橋市立海神小、船橋市立法典小、本部校の地域・来賓了徳寺大学の20チームが参加した。開会式はライブ動画を放映、各参加校の動画が相互上映され、それぞれの学校で試合(サークルターゲットスロー)を行った。後半は、ZOOMエキシビジョンマッチで荒井育子選手(千葉ボッチャクラブ)と夏見法典小が対戦、課題を統一して対戦するボッチャを初めて体験。コロナ禍でオンライン交流するボッチャフェスタに大いに興味を持った。



オンラインボッチャ開会式

～ 協議会后記 ～ 各ブロックの代表の方を主体に、メール等を活用してコミュニケーションを活発にしていまいますのでご協力下さい。

- メールアドレス； [chibapara15@gmail.com](mailto:chibapara15@gmail.com)
- ホームページ(HP)； <https://chibapara15.jimdofree.com/>
- フェイスブック(FB)； <https://www.facebook.com/chibapara/>



QRコードをご活用下さい

<「千葉障がい者スポーツ指導者協議会」 書簡受付宛先>

住所；〒263-0016 千葉県千葉市稲毛区天台 6-5-1

宛先；「一般社団法人 千葉県障がい者スポーツ協会」気付「千葉障がい者スポーツ指導者協議会」



千葉障がい者スポーツ指導者協議会



第41号



協議会だより



令和4年3月11日発行



令和4年度(2022年度)総会・研修会、理事会等のお知らせ

<令和4年度総会>

日時；令和4年5月4日(水・祝) 10時～12時(受付；9:30～)

場所；千葉県総合スポーツセンター スポーツ科学センター 3階 第1研修室

<第1回研修会>

日時；令和4年5月4日(水・祝) 13時～16時30分

場所；千葉県総合スポーツセンター スポーツ科学センター 第1研修室、多目的アリーナ

研修内容；テーマ1；「スポーツ大会等における新型コロナウイルス感染予防の実践事例」

講師；宮坂 昇(千葉県ボッチャ協会 会長)

テーマ2；「全スポ大会正式競技 フライングディスクを楽しもう」(実技)

講師；林 隆之(千葉県障がい者スポーツ協会 コーディネーター)

※ 出欠連絡は、QRコード(協議会だより4ページ後記に掲載)から協会宛メールで回答下さい。

申込み締切は、令和4年4月15日(金)厳守でお願いします。

<第2回研修会>

日時；令和4年11月27日(日)13時～16時30分(予定)

場所；千葉県総合スポーツセンター スポーツ科学センター 第1研修室、多目的アリーナ

<令和4年度監査会、第1回理事会>

日時；令和4年4月17日(日) 場所；千葉市ハーモニープラザ 講習室3

11時～ 監査会 12時～ 第1回理事会

議題；総会議案の決定(活動報告、収支決算、活動計画、収支予算等)

千葉県障がい者スポーツ協会デリバリー講座「ボッチャ教室」に参加して

西部②ブロック 新井 あけみ

1月8日(土)に市川市立菅野小学校で、デリバリー講座「ボッチャ教室」が開催されました。

前日に雪が降り足元の悪い中、近隣の小学生17人が参加してくれました。浦安ボッチャクラブの方々の指導の下、千葉県障がい者スポーツ協会スタッフと市川市二中ブロックコミュニティクラブのスタッフでサポートを行いました。検温、消毒をきちんと済ませ、3つのコートの設営から始まりました。次にルール説明、そして実際にゲームを行って、コミュニティの皆さんもボッチャを体験しながら学びました。子供たちを3つのグループに分け、まずはボールを握らせます。「習うより、慣れろ」感覚ですぐに実践。はじめは思い切り投げて遠くへ飛んだり、ゆるすぎて目の前で止まったり…でもコツをつかむとジャックボールの数cmに寄せてきたりとみんなの習得の早さにビックリ！あちこちから歓声が上がったり、笑い声や拍手が聞こえてきたりと和やかな雰囲気が進みました。片付けも全員で行ったことで、皆さんとの交流もさらに深まったと実感しました。若いスタッフの機敏な動きや積極的な姿勢でパワーが溢れていました。コロナ蔓延のため活動の時間は僅かでしたが、その環境の中でもできることを行うことで少し前進できたのではないかと思います。終息にはもう少し時間がかかりそうですが、地域にふれあい人と関わりながらスポーツの輪を広げていきたいと思っています。



「香取地区障がい者スポーツ大会」に参画して 北部ブロック支援；玉上・宮坂  
10月13日に香取市民体育館で「香取地区障がい者スポーツ大会」の午前中に行われるフライングディスクとボッチャに参画してきました。雨天でしたが約40名の方々に参加して頂きました。

フライングディスクは、「全国障害者大会」千葉県代表の地元の香取洗司選手に来て頂きました。フラフープを縦にして置いたような輪を5メートル先(今回は3メートル)に置き輪の中を通す「アキュラシー」の種目で、10個のディスクを投げて何個通せるかを競いました。最初はなかなか通せませんでしたが、試合を重ねるにつれ、要領をマスターして楽しんで頂きました。ボッチャは、東京パラリンピックでボッチャも大活躍したばかりで、赤・青・白・黄・緑・黒の6色チームに分かれて予選リーグ、決勝トーナメントで競い赤チームが優勝しました。目が不自由な方は、鈴の音で的の位置を知らせ上手に投球しました。



この大会は、香取市社会福祉協議会主催で毎年10月に開催されている大会です。当協議会の北部ブロックには、5名の会員がいらっしゃいますが、平日のイベントにはなかなか参画できません。指導員全体でサポートし、盛り上げていきたいと思っております。

### 千葉県強化指定選手特別講演会

12月23日千葉県文化会館大ホールで千葉県ゆかりのオリ・パラ選手を招いての講演会が開催され、当協議会から15名程が出席した。

オリンピック選手は体操の橋本、萱、谷川選手、ウェイトリフティングの安藤選手ら7名  
パラリンピック選手は車いすラグビーの池崎選手、柔道の小川選手、ゴールボールの佐野選手、卓球の竹守選手の4名が出席し、オリ・パラ出場の感想、選手村生活、今後の抱負等を熱く語ってくれた。県内の競技団体から小中学生が多数参加していたこともあり、トレーニング方法や目標の持ち方、緊張を和らげる方法など選手から適切なアドバイスもあった。メダリストの語る自信に満ちた言葉に次代を担う若きアスリート達は大いに参考になったようだ。

### 佐倉市「みんなで知ろう！パラスポーツ！」 北部ブロック長 芹川侑祐

12月4日佐倉市志津コミュニティーセンターで「みんなで知ろう！パラスポーツ！」が開催され、ゴールボール体験、車椅子バスケットボールの競技用の車椅子の試乗体験、ボッチャの体験ができるコーナーを設け、市民の皆様楽しんで頂きました。北部としては、参加者150名の方々に消毒など感染防止に努めながらのボッチャ体験会を実施しました。当日は、山根副会長、宮坂理事、丹羽理事にもご協力いただき実施しました。



障害を持っている方でも持っていない方でもボッチャの楽しさを知っていただける機会になったかと思っております。今回は、実施のコートよりも小さいコート(縦6m×横4m)と(縦4m×横3m)の2種類のコートでしたが、それぞれにおいて白熱した戦いが繰り広げられました。参加した方から「とても楽しかった」「もっとやりたい」との声もあがっていました。今回は、体験会を実施しましたが今後は会員の方にもご協力いただきボッチャ大会の開催を目指し活動を行っていきたく考えています。



### ふなばし市民パラスポーツ体験交流会開催 船橋障がい者スポーツ協会

2月13日船橋アリーナ多目的室でパラスポーツ体験交流会が開催された。

このイベントは「ふなばし市民大学校」の学生(市民)が企画、運営し、初級障がい者スポーツ指導者講習の一環で取組まれ、一昨年(2020年)は市民ボッチャ大会を開催している。

船橋障がい者スポーツ協会は、企画運営から大会スタッフ審判派遣等に協力した。当日は、第1部がボッチャ、ゴールボール、車いすバスケ、卓球バレーの4種目のルールやゲームの方法等を教えた。

第2部はボッチャと卓球バレーの交流会大会を実施、コロナ禍で参加数制限、感染防止策を徹底し24チーム約80名が参加、小学生からお年寄り、親子や障がい者を交えての楽しいイベントとなった。

車いすバスケは、簡単に回転し、ブレーキがなくでどうしてシュートできるのか、ゴールボールは全く見えない中でどうコミュニケーションをとるのかと驚いていた。

ボッチャは接戦が相次ぎ、親子で歓声、幼女の悔し泣き、仲間と喜んだり、各コートで様々な光景が見られた。

卓球バレーは6人1チームで、ネットの下を通して打ち合い得点するもので激しい打合いや絶妙なパスの出し合いで勝っても負けても笑顔が絶えなかった。

無事にイベントが終了し、大きなトラブルもなく、みんなが楽しんでいたことに学生の面々は満足していた。なお、卓球バレー公開試合は、船橋市で初めての試みだった。

協会は今年の普及活動の重点種目として力を入れている。



### 令和3年度第2回千葉障がい者スポーツ指導者協議会研修会報告

日時；令和3年11月23日(火・祝)13：00～16：00

場所；千葉県総合スポーツセンター スポーツ科学センター 第1研修室

◇開講式・挨拶；千葉障がい者スポーツ指導者協議会会長 高橋久吉

◇講話；村山 浩氏(千葉県四街道市出身。東京2020パラバドミントンダブルス銅メダリスト)パラリンピック会場は華やかさと独特の緊張感があった。通常の国際大会と同じ意識で臨んだものの手の震えが止まらない。初めての感覚だった。銅メダルは嬉しさ、悔しさが半分。日の丸を挙げたいと強く思った。

◇体験談(1)；安藤 達夫氏(2015年東京大学大学院学術支援職員/客員研究員、2021年同学退職)

オリ・パラのボランティアに参加、メダル授与セレモニー等を担当。2021年春からはPCR検査、オンライン研修、ワクチン接種、予行練習等々を経て本番に臨んだ。パラバドミントンの表彰式は心から感動した。

◇体験談(2)；馬場 宏輝氏(帝京平成大学健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科准教授)

京都の車いすフェンシングワールドカップに学生を派遣したのがキッカケ。車いすフェンシング競技国内技術委員として10日間、学生ボランティアを5会場、60人を統括した。会場に7時集合、23時終了のハードな日程をこなしたが会場までの移動が一番大変だった。

